

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くれよんクラブ(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 24日 ～ R7年 1月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	R7年1月 24日 ～ R7年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 16名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	勤務年数が長い職員がたくさんいる。 少人数のグループに分けチームで支援している 建物も耐震化されている 一つの建物で児発と放デイ2事業を実施している	職員が働きやすい環境づくりをしている 異年齢で上級生の動きを見て行動できるようなクラス分けをしている	普段から職員間のコミュニケーションを大切にしてい く 少人数で障害に合った支援をしていく 個別支援計画の目標が常に支援員の目に入るようにしている
2	医療的ケア児の受け入れができる	看護師の配置があり医療的ケア児の受け入れ可能	専門的支援加算により職員の充実を図る
3	法人研修、職員研修、強度行動障害等の研修を受けている	研修に参加できるよう業務調整をしている	日頃の支援方法の検証の為心理相談を受けている ズームで研修を受けるなど職員の研修機会を設ける 年間研修計画を立て職員が自己研鑽できるようにしていく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や同学年の友だちとの交流の機会がない	学校から帰ってきて交流の時間をとるのは厳しい 感染対策等で交流が難しい	法人で地域とつながるイベントを実施するとき一緒に参加し 親子で防災意識を高める機会を作る
2	その日の反省をその日のうちに振り返りを行いたい	勤務形態により参加できない場合がある	チームの職員中で伝達していただく 事務連絡ノートを活用していく
3	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等による保護者同志の連携が支援されていない	感染症の予防により活動が中止されている	保護者同志の情報交換の場ともなるので再開していく